

学校における活用の充実

校内研修の具体例

自校の調査結果は、多くの活用が考えられますが、最も有効なのは「教員の指導改善を検討する校内研修」の場面です。すぐに取り組むことができる具体例を紹介しています。

A「調査問題の意図を知る」(4月～)

(目的) 教科に関する問題を解き、職員が出題の意図を知る。

B「文科省の調査結果データの見方を知る」(5月～)

(目的) データの見方を知り、調査結果提供後、すぐに分析できるようにする。

C「県の『誤答分析シート』を作成する」(8月～)

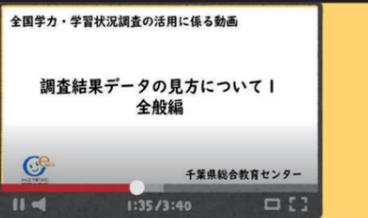
D「県の『経年分析シート』を作成する」(8月～)

(目的) 誤答・経年変化を分析し、改善方を検討する。

県総合教育センターでは、校内での研修が充実するよう、「全国学力・学習状況調査の活用に係る動画」を限定配信しています。(視聴方法は市町村教育委員会を通じて各学校にお知らせしています。)ぜひ御活用ください。

現在
配信中の
動画

- ・調査結果データの見方について1 全般編
- ・調査結果データの見方について2 S-P表編
- ・県の分析シートを活用した結果分析について
- ・令和5年度の調査概要と本県の結果について
(動画は順次アップロードしていきます。)



役立つコンテンツの御紹介 ～県教育委員会 HP から～

授業実践アイデア例 (授業全体や単元全体を見通した授業改善の具体例)

見いだす 学習の見直しをもつ ○教科等情報

第1時

総合的な学習の時間では、自分の将来やキャリア形成のために、様々な職業や働き方について調べ学習を行いました。今回の調査では、皆さんが興味を持った仕事について、実際に働いている方にインタビューをして、働く上で大切なことを考えてみましょう。

実際のインタビュー動画から、読者の思いや考えを引き出すインタビューをするためにはどのようなことを心がければよいかを考えます。

授業改善のポイント

指導事項を具現化したインタビュー映像を教材とすることで、生徒自身に「聞き手としての問いやねらいのあるインタビュー」をすることが重要であることを実践的に伝えさせていただきます。

自分で取り組む 相手の考え、質問内容を考える ○目的意識

第2時

地域にある会社で電化製品を開発している方のメッセージが、企業ホームページに掲載されています。この方にさらに詳しくお話を伺いたいです。

授業改善のポイント

「安全性を確保しつつ、デザイン性や利便性を兼ね備えた製品を開発するのは難しい」とあるが、具体的にどのような難しさがあるのか、「具体例」を知りたい!

広げ深める インタビューをする ○目的意識 ○ICT活用

第3時

①毎日、課題の解決に頭を悩ませています。 ②課題を解決するために、星野さんはどのようにアイデアを生み出しているのですか。私は美術部に所属しているのですが、よくアイデアが湧かず、作品の制作が滞ってしまっているのです。

③そういうときは、私は仲間と話し合うようにしています。

○タブレットの録音機能を活用し、インタビューの内容を記録して残す。 ○さらに聞きたい話を引き出すために、相手の発言に関連付けて質問する。

授業改善のポイント

聞き取ったことを基に自分の考えをまとめることができる力を育むことが大切です。そのためには、普段から「ただ聞く」のではなく、共通点や相違点などに着目して自分の考えをもつ学習活動を展開する必要があります。

まとめあげる インタビュー内容を整理し、学習を振り返る ○目的意識 ○教科等情報 ○ICT活用

第4時

学習の振り返り(生徒の振り返り例)

事前のメモを使って質問することができた。自分の体験とともに質問をした。想定していたより様々な話を伺うことができた。インタビューの質問が思いがてらうまくいったので、事前のメモをさらに作る必要があった。話を聞くための準備をしっかりと事前に自分の考えが深まったので、総合的な学習の時間に活用してみたい。

授業改善のポイント

自身がどのように話したり聞いたりしているのかを振り返る様子に振り返らせることが大切です。インタビューに関する資力・能力をメタ認知させ、次の学びへとつなげていきます。

本単元では、「インタビューをする」という活動を通して「聞く能力」を育成することを目指しています。「聞く」という活動は必ずしも受動的なものになりがちですが、目的や意図を明確にすると、事前に聞くことを調べたりメモしたりする「主体的な聞き手」を育む学習指導が大切です。(これはインタビューという言語活動に限ったことではありません。)

このように、全国学力・学習状況調査では育成すべき資力・能力を明確化した授業場面が調査問題になっています。他の調査問題についても単元づくりのヒントとなっていますので、ぜひ活用してみてください。

この他にも、役立つコンテンツをたくさん紹介しています。学校での研修に取り入れたり、個人研修で取り入れたりできるものを見つけて、ぜひ活用してください。

R5 中学校国語「相手の思いを引き出すインタビューを通して自分の考えをまとめよう」(1年生) [話すこと・聞くこと]

自校の児童生徒の実態や学校の状況に応じて、調査結果を生かした取組を、効率よく、効果的に行っていきましょう!

千葉県総合教育センター学力調査部 ☎ 043-276-1238

「令和5年度 全国学力・学習状況調査活用の手引き」リーフレット

「令和5年度 全国学力・学習状況調査活用の手引き」を紹介します



千葉県マスコットキャラクター チーパくん

令和5年度 全国学力・学習状況調査の分析や活用をより一層進めていきましょう

千葉県全体の状況について知りたいです。

自校の結果をどのように分析すればよいか知りたいです。

どのように活用すればよいか知りたいです。

おまかせください

教科に関する調査・質問紙調査について、千葉県の結果をまとめています。自校の結果と見比べて、明日からの指導に役立ててください。

おまかせください

調査結果を分析しやすくするため、千葉県総合教育センターでは4つの「分析シート」を用意しています。それぞれのシートの使い方について、詳しく紹介しています。

おまかせください

すぐに活用できるように、校内研修の具体例、市町村教育委員会等の取組、役立つコンテンツなどを紹介しています。

↓↓↓ さらに今年度は! ↓↓↓

トピックページで「市町村教育委員会等の取組」を紹介

A 成田市教育委員会の取組

成田市教育委員会では、以下の表のように、「各学校の学力向上に向けた取組」について取りまとめています(本書掲載にあたり、当センターで一部編集しています)。「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点ごとにまとめられており、調査結果をもとにポイントを絞って評価・検証し、指導・助言を行うことができるよう工夫されています(全国学力・学習状況調査では2観点のみ調査対象となっている)。

なお、この一覧表は、市主催の研修会などにおいて、情報交換等、有効に活用されています。

観点	知識・技能の向上	思考・判断・表現の向上	主体的に学習に取り組む態度の向上
キーワード	教科の課題に沿った繰り返し学習	考える、表現する場と時間の保障	ふり回りの充実
国語	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の学習の工夫(文章を読む、漢字クイズ) ミニ漢字テスト、漢字検定、言葉に関する小テスト ミニ作文(自由、テーマを決めて、記事を読んでも) 話を聞く際のメモの取り方の練習 年間継続した取り組み(視写、日記) 習得した漢字を使った言葉や文を考えて書く 「言葉の宝箱」を活用し、語彙を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> 導入を工夫し、目標や目的の明確化 相手意識、目的意識をもった言語活動(手紙を書く、朝の会でのスピーチ、他校とのリモート交流会) 条件付き作文(新聞記事や「ちばっ子チャレンジ」から) 定期的な短作文を書く、読み合う活動 要約を重視した指導 印象に残った記述を抜き出し、自分の考えをまとめる活動 	<ul style="list-style-type: none"> 【国語】 ・並行読書、読書貯金通帳 ・語の暗唱(毎朝一斉) 【算数】 ・本時のふり回りを書くことの習慣化→そのための時間の確保 【社会】

市町村教育委員会、教育事務所での全国学力・学習状況調査を活用した取組についても紹介しています。

学校での活用にも参考になる取組がありますので、ぜひご覧ください!

まずは、「令和5年度 全国学力・学習状況調査活用の手引き」をダウンロードしましょう!

千葉県総合教育センターのトップページよりダウンロードができます

千葉県総合教育センター 全国学力・学習状況調査活用の手引き

検索



